

(´・ω´) 鳥取県知事選（投票日4月7日） 日本共産党推薦 新人福住ひでゆき候補を応援します。  
勝利への鍵は知事の違法行為。

鳥取県知事は反社会的勢力に弱みを握られ餌食。

## 鳥取県知事の犯罪 リコーキャンダル隠蔽事件

鳥取市のAは、自分関連のリコー工場のスキャンダル(傑作な笑い話)の表沙汰を意図して、鳥取県警察の“婦人警官無修正ヌード”掲載の偽ホームページ公開で警察を挑発した。すると“婦人警官無修正ヌード”の挑発で警察は激怒し鳥取県と結託して誘致企業リコーの喜劇的スキャンダル表沙汰阻止を意図し、“極めて人権に配慮した法”である精神保健福祉法29条を用いて大量に公文書偽造の違法行為を犯し、大企業リコーが弁護士をつけてAに黙秘している問題を、底辺の人間Aの妄想と断定し、“都道府県知事の命令”でAを5ヵ月間措置入院。鳥取県人権局の某氏によると「精神科通院歴がある(土方など底辺層の)者が些細な事をすると措置入院させる」と県庁の建物の外を歩いている時に教えてくれた。昔、共産主義者が些細な事したら逮捕・投獄されたのと同じ。しかし本人の意思に反して身柄を拘束する措置入院の法律は“極めて人権に配慮した法”で決して不正利用は許されぬと、様々な厳格な手続き、監視体制が定められている。例えば地元鳥取市から100キロ離れた米子市の鳥取大学医学部教授が、鳥取県の業務委託で鳥取市の病院に“精神医療に不正はないか、人権は守られているかと審査に来た。そして権力に迎合して虚偽の審査票作成。さらに弁護士、学識経験者らで結成された、人権に配慮し適正な医療を確保する機関精神医療審査会も偽造文書作成。Aはリコーのバイト工員やら土方をして海外をブラブラしていた底辺の人間だが、法学部卒なので裁判で大量の偽造公文書を入手して”都道府県知事“の弱みを握った。

不正利用は絶対に許されぬ“極めて人権に配慮した法”精神保健福祉法29条が万が一違法に利用されたら立法者は都道府県知事に重大責任を課す意思でこの法律の条文に都道府県知事の権限と責任を記した。

**鳥取県が“都道府県知事の命令”で犯した違法行為、鳥取県知事の重大な注意義務違反による過失犯罪、リコーキャンダルの喜劇において、リコー側に違法性は認められず、鳥取県知事に違法性があり知事の犯罪が“リコーキャンダル隠蔽事件”の核となった。**



**重大な注意義務を怠った過失犯として鳥取県知事がけじめをつけるのが国権の最高機関国会、立法府の意思。けじめの免除には任侠団体に5億円寄附。**

鳥取県知事の違法行為に直接証拠はないので、以下の不自然な電話録音の間接証拠を追及。

鳥取市内の共産党鳥取県委員会にかけた電話で、頑なに名前を言おうとしない女性、鳥取県知事の違法行為隠蔽の社会的責任回避の共産党女性議員。地元民によると市谷知子鳥取県会議員。

鳥取県委員会の、頑なに名前を言わない女性との電話、そして「この電話録音の女性は誰？」という調査依頼を、共産党本部と党首志位和夫委員長の事務所は「対応しない」と責任の所在を明かさぬ無責任回答。

電話録音 <http://greenvxv.jp/ghs.mp3>

鳥取創価学会中心会館の、知事の違法行為の担当者が“ボランティア警備”だそうだ。実は鳥取創価学会の最高幹部鳥飼賢治総鳥取長。元学会員が電話録音を聴き証言。学会は反論できなくなった。大聖人池田先生お嘆きの学会の醜態。自称“ボランティア警備”こと鳥取創価学会最高幹部鳥飼賢治総鳥取長との電話録音

<http://greenvxv.jp/soukax.mp3>

公明党鳥取県本部は電話録音を恐れているらしく、電話(番号通知)に出ようとしない。

知事の違法行為なんて重大問題を、“立派な人物”が名前を名乗って「対応しません」などと知らぬぷりをすれば、“立派な人物”は暴力団から道德教育を受け、高額授業料を払わなければならないので下手に名前が言えない。

**鳥取県知事平井伸治の弱みを握るとるがな 任侠団体に5億円寄附**

